

美浜発電所敷地内破砕帯に関する 追加調査の工程見直し

平成25年5月30日

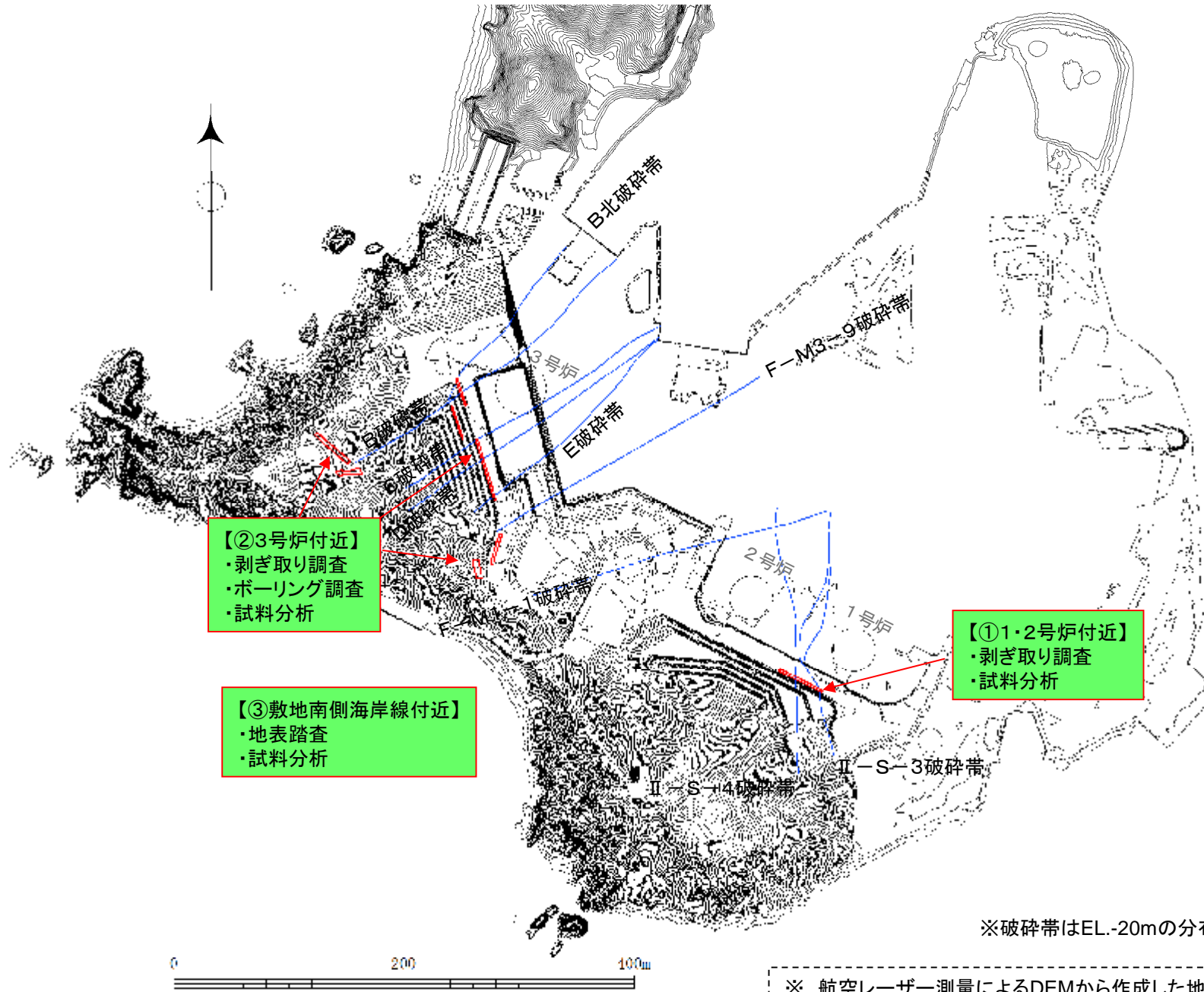
関西電力株式会社

最終報告時期の延期について

現在、美浜発電所敷地内において、破砕帯の性状を直接確認するための剥ぎ取り調査、および過去の調査(平成18年の耐震バックチェック)において確認していた破砕帯と、今回の調査で確認した破砕帯の関連性について、より詳細に確認するための調査(ボーリング調査)を追加で実施している。

この追加で実施していたボーリング調査の分析や、採取した試料のデータの分析に時間を要していることに加えて、さらに本数を増やしてボーリング調査を実施しているため、平成25年5月末までとしていた最終報告時期を7月末日途に変更する。

美浜発電所敷地内破砕帯に関する追加調査位置図（敷地内）



美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査位置図（敷地外）

白木-丹生断層との間の堆積層が分布している低地、湾内で地下構造の調査を行った。

白木-丹生断層

- 反射法地震探査測線 (S波)
- ボーリング
- 海上音波探査測線(今回) (ブーマーマルチ)
- - - 海底地形調査範囲
- - - 海上音波探査測線(既往)

【④敷地外(陸域)】
 ・反射法地震探査
 ・ボーリング調査
 ・地表踏査

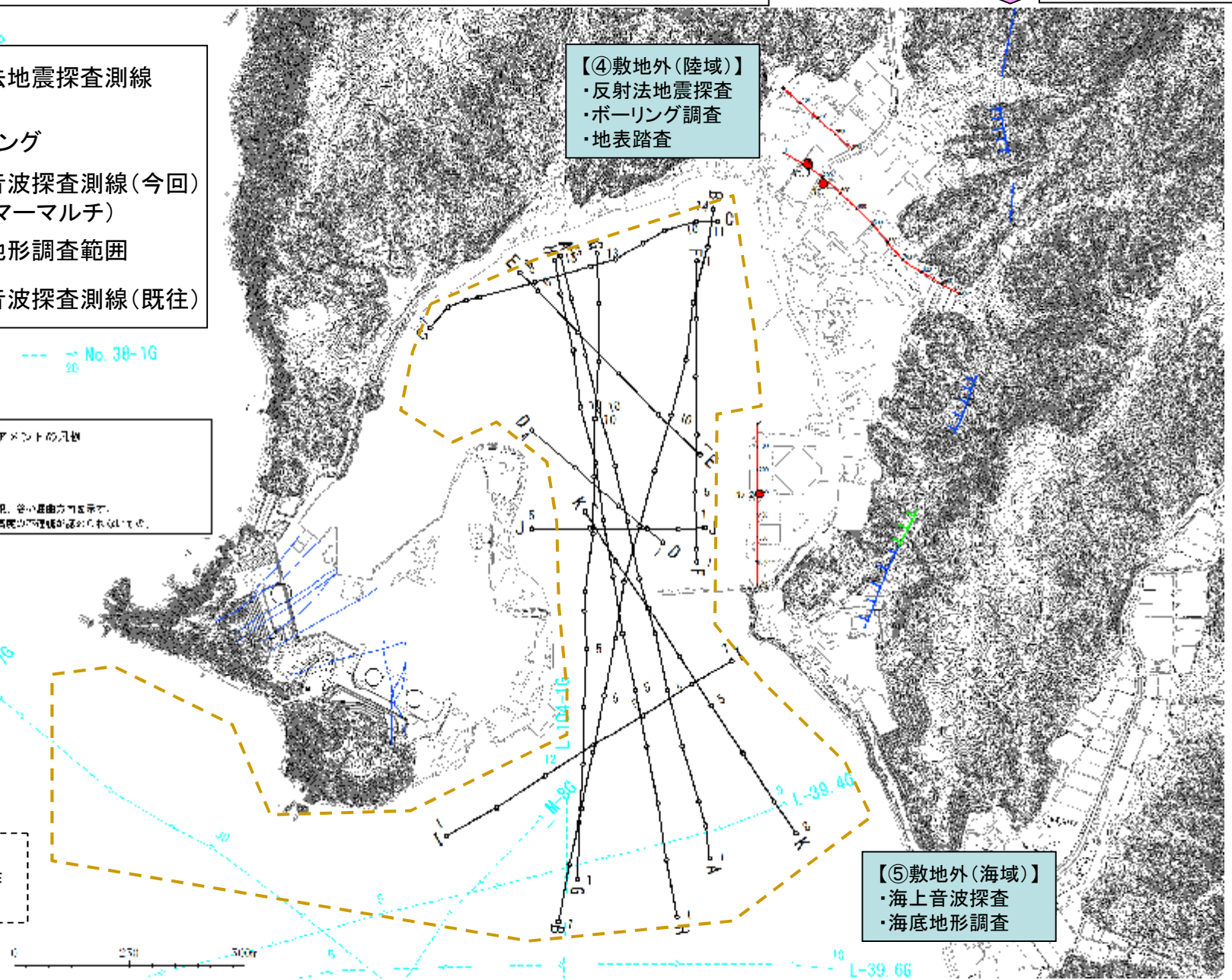
全野地形・リニアメントの凡例

- Oラング
- Uラング

地形は緑・黄を示す。次等は黒色。谷の崖面方向を示す。境界はレリ。アジソンは原則は高標高が確認されている。

※ 航空レーザー測量によるDEMから作成した地形図を使用

【⑤敷地外(海域)】
 ・海上音波探査
 ・海底地形調査



美浜発電所敷地内破砕帯に関する追加調査概要

ポイント	調査計画位置	調査項目	調査内容
(1) 敷地内の複数の破砕帯の性状(活動年代等)を直接確認するための適切な場所を選定の上、当該箇所における必要な調査(破砕帯内物質の年代測定や上載地層の変位・変形の有無等)	①1・2号炉付近	剥ぎ取り調査 試料分析	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の分析等。
	②3号炉付近	剥ぎ取り調査 ボーリング調査 試料分析	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の分析等。
	③敷地南側海岸線付近	地表踏査 試料分析	・破砕帯の直接確認。 ・破砕帯内物質の分析等。
(2) 敷地内の複数の破砕帯と周辺の活断層(白木－丹生断層)との地質構造上の関連性を明らかにするための調査	④敷地外(陸域)	反射法地震探査 ボーリング調査 地表踏査	・敷地内破砕帯と白木－丹生断層との関連性について検討。 ・ボーリングによる基盤高度等の確認
	⑤敷地外(海域)	海上音波探査 海底地形調査	・敷地内破砕帯と白木－丹生断層との関連性について検討。
	⑥敷地周辺	航空レーザ測量	・航空レーザ測量によりDEMを作成し、変動地形の有無を再検討するとともに、敷地内破砕帯と白木－丹生断層との関連性について検討。

※調査位置、調査項目、調査内容は、調査の状況によって変更となる場合がある。

美浜発電所敷地内破碎帯に関する追加調査工程

調査計画位置	調査項目	平成24年				平成25年						
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
		計画承認 ▼					中間報告 ▼					最終報告 ▼
準備(許認可含む)	自然公園法、工場立地法、森林法											
①1・2号炉付近	剥ぎ取り調査 試料分析											
②3号炉付近	剥ぎ取り調査 ボーリング調査 試料分析											
③敷地南側 海岸線付近	地表踏査 試料分析											
④敷地外(陸域)	反射法地震探査											
	ボーリング調査 地表踏査											
⑤敷地外(海域)	海上音波探査 海底地形調査											
⑥敷地周辺	航空レーザー測量											
総合評価												

準備 調査 解析 ※調査位置、調査項目、工程は、調査の状況によって変更となる場合がある。更なる工程短縮について検討していく。

(凡例)	
	計画
	実績